

【計画名称】 北九州市 小倉都心部浸水対策推進プラン

【福岡県北九州市】

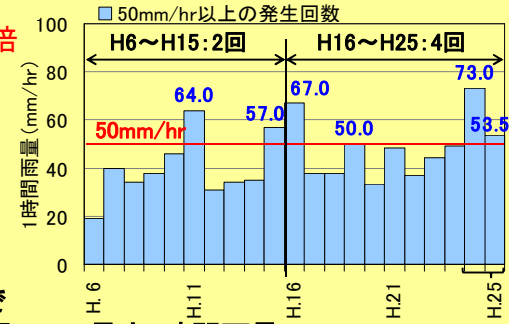
流域の概要

- 紫川下流域及び神嶽川流域では、近年多発する局地的豪雨により、河川の溢水などの、浸水被害が多発
- 平成25年7月の豪雨では、床上1戸、床下54戸の浸水被害が発生



【北九州地方における時間雨量50mm以上の発生回数】

- ・過去(H6~H15)
10ヶ年での発生回数は2回 (10年に2回)
- ・近年(H16~H25)
10ヶ年での発生回数は4回 (10年に4回)



- ⇒頻発する局地的豪雨に対して
早急な浸水対策が急務
- 小倉都心部浸水対策推進プランで
対象とする降雨は、平成25年7月3日の最大1時間雨量73.0mm

【浸水被害の主な要因】

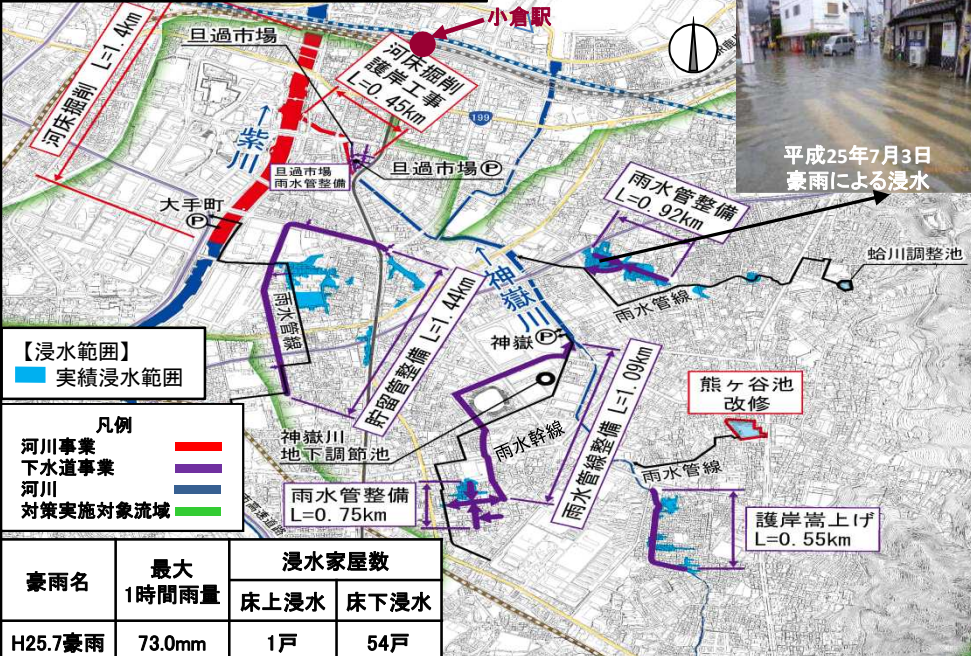
- 頻発する集中豪雨により、危険度が増大
- 紫川下流域や神嶽川は、下流から河川改修を進めているが、下流部ネック箇所を改修するまで時間を要するため、排水が困難
- 下水道(雨水排水)の整備を進めているが、近年整備基準を上回る降雨の発生により、浸水する頻度が増大

河川と下水道が連携し、流域における浸水対策を推進する必要がある。

紫川流域会議

組織	部局
県関係	北九州県土整備事務所
市関係	建設局、上下水道局、環境局、建築都市局、小倉北区役所、小倉南区役所、教育委員会
住民	自治会、愛護団体

平成25年7月3日豪雨被害状況と対策



取組内容

＜計画期間：H27年度～H36年度＞

- 河川整備
紫川における川底の掘削、神嶽川における巨過市場(神嶽川流域に隣接する商業施設)のまちづくりと併せた川底の掘削、護岸の整備等により、雨水を安全に流す
- 下水道整備
雨水管や雨水貯留管等の整備により、速やかに地表の雨水を排水
- 浸水被害軽減対策
 - ・公共施設(ため池)での流出抑制
 - ・「巨過市場休憩所」にてハザードマップを掲示
 - ・市民と行政による水防訓練や商業施設等の大型画面を用いた啓発活動、防災の出前講演の実施
 - ・防災の出前講演を行う中で、防災情報のメール自動送付サービスへの登録を周知

取組効果

河川と下水道が連携して整備を実施するとともに、関係機関が一体となり、浸水対策を取り組むことにより、対象とする降雨と同規模の降雨に対して、流域内の床上浸水被害の解消と浸水エリアの縮小を図る。